

(記載例)

～ 記載のポイント ～

令和8年度未来につながる持続可能な農業推進コンクールにおいては、公募要領の別紙に掲げる「審査項目」及び「審査基準」に基づき、審査を行います。

応募用紙、推薦調書の記載に当たっては、これらの「審査項目」及び「審査基準」を参考としてご記載いただくようお願いします。

なお、「審査基準」については、あくまで一例となりますので、全ての取組について網羅的にご記載いただく必要はなく、また記載例にない取組についてもご記載いただけます。

令和8年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール応募用紙

応募者情報

応募区分	GAP 部門			
	個別経営の部			
ふりがな	かぶしきがいしゃ ○○のうえん	ふりがな	○○ ○○	代表者年齢
氏名 (団体名称)	(株)○○農園	代表者氏名 (団体の場合記入)	代表取締役 ○○ ○○	○○
住所	〒○○○-○○○○ ○○県○○市○○ ○-○○-○	連絡先	電話:○○-○○○○-○○○○	
			メール:○○○○○@○○.co.jp	
			事務担当者氏名:○○ ○○	

<取組内容>

応募タイトル	GAP の取組を通じた生産工程の改善及び地域での普及活動						
品目	レタス	※2 経営面積	○○	ha	※2 構成員 の人数	○○	人
取得中の GAP 認証及び 認証種別	※2 <input type="checkbox"/> GLOBALG.A.P. <input type="checkbox"/> ASIAGAP <input checked="" type="checkbox"/> JGAP <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 個別認証 <input type="checkbox"/> 団体認証	※2 認証取得 した品目 (すべて記載)	レタス トマト ミニトマト		※2 認証取 得時期 (年月)	○○年○月	

取組開始年、きっかけ、これまでの経緯

当法人は、〇〇年からレタスの栽培に取り組み、〇〇年に経営を拡大し、トマト及びミニトマトの栽培にも取り組んできた。経営の拡大に合わせて、従業員を新たに雇用することとなり、そこで栽培や農場でのルール、雇用環境の整備等、対応すべき新たな課題が出てきたことがきっかけで、〇〇年から GAP に取り組みはじめ、2 年後の〇〇年には、JGAP 認証を取得した。

取組内容

①生産工程管理の改善に向けた継続的な取組

新たに従業員を雇用したことにより、作業者によって、作業内容や作業場所等の記録内容にバラつきが出ないように工夫する必要が生じたことから、取組の各種記録・管理情報を一元的に管理できるよう〇〇〇〇のシステムを導入し、作業記録の統一化や効率化、記録漏れの防止等を行っている。

この取組により、〇〇〇〇を達成し、〇〇〇〇等に役立っている。

(※必要に応じて取組内容について分かるような資料や写真等を添付)

②生産効率性の向上に向けた取組とその効果

記録システムの導入により、その日に行うべき作業内容や今後の作業予定の内容が明確になり、作業の効率化につながっている。従業員同士で作業内容が共有されることで、円滑なコミュニケーションが行われるようになり、作業ミスの発生や記録のつけ忘れ等の防止にもつながっている。

この取組により、〇〇〇〇を達成し、〇〇〇〇等に役立っている。

(※必要に応じて取組内容について分かるような資料や写真等を添付)

③経営の改善に向けた取組とその効果

作業の効率化により、各生産工程での作業内容が可視化され、各従業員における作業量等の把握につながった。このことにより、従業員の作業レベルに合わせた給与の見直しや人事評価での活用等、労働条件の改善にもつながっている。新入社員向けには、GAP のマニュアルをベースに、勉強会や作業指導を行っており、GAP に取り組む意義を学ぶとともに、ほ場に作業理解に関する教育ツールとなっている。

また、GAPに取り組み始めたことで、出荷先から栽培履歴や水質検査等の結果を求められた際に、即座に対応出来るようになり、出荷先からは高い評価を得ている。〇〇年からは、新たに地元企業との契約取引が始まり、年間〇〇kg を出荷している。

今後も、更なる販路拡大を目指しており、輸出や加工を視野に入れている。

(※必要に応じて取組内容について分かるような資料や写真等を添付)

④地域の内外への波及に向けた取組

地域での GAP 普及に向けて、〇〇県と連携し、GAP認証取得を希望する者への取得に必要な書類作成の支援や研修会講師として指導を行っており、県内での GAP の取組の普及拡大に向けて活動を行っている。

また、近くの〇〇農業高校において、GAP に関する出前授業の実施やほ場に学生を招いて現地研修等を実施し、将来、GAP に取り組む農業者の育成も行っている。

(※必要に応じて取組内容について分かるような資料や写真等を添付)

(記載例)

直近の経営状況

〇〇年の GAP 認証取得後、作業の効率化により、栽培面積を拡大し、10aあたり収量も向上。出荷量及び販売額についても、着実に増加している。

〇レタス

	〇〇年 (GAP 認証前)	〇〇年 (GAP 認証取得年)	〇〇年 (GAP 認証取得後〇年)
栽培面積	〇〇a	〇〇a	〇〇a
10a 当たり収量	〇〇kg	〇〇kg	〇〇kg
出荷量	〇〇kg	〇〇kg	〇〇kg
販売額	〇〇千円	〇〇千円	〇〇千円

〇トマト

	〇〇年 (GAP 認証前)	〇〇年 (GAP 認証取得年)	〇〇年 (GAP 認証取得後〇年)
栽培面積	〇〇a	〇〇a	〇〇a
10a 当たり収量	〇〇kg	〇〇kg	〇〇kg
出荷量	〇〇kg	〇〇kg	〇〇kg
販売額	〇〇千円	〇〇千円	〇〇千円

〇ミニトマト

	〇〇年 (GAP 認証前)	〇〇年 (GAP 認証取得年)	〇〇年 (GAP 認証取得後〇年)
栽培面積	〇〇a	〇〇a	〇〇a
10a 当たり収量	〇〇kg	〇〇kg	〇〇kg
出荷量	〇〇kg	〇〇kg	〇〇kg
販売額	〇〇千円	〇〇千円	〇〇千円

今後の活動方針、その他アピールしたい事項

引き続き、GAP に取り組み、作業の効率化や従業員教育、経営改善等に力を入れ、栽培面積の拡大に努めていく。また、地域での GAP 普及に向けて、GAP 認証取得希望者への取得支援や農業高校における指導活動についても、引き続き推進していきたい。

(※その他、アピール事項等について該当あれば記載)

- ※1 農業生産に関する取組の場合、「個別経営の部」、「団体の部」、「人材育成の部」のいずれかを選択して下さい。
なお、農業者、法人等は「個別経営の部」、市町村、農業協同組合、協議会等は「団体の部」、農業教育機関等は「人材育成の部」を選択して下さい。
また、流通・加工・販売・消費に関する取組の場合、「実需の部」を選択して下さい。
- ※2 「個別経営の部」、「団体の部」、「人材育成の部」の方のみ記載して下さい。
- ※3 本応募用紙の他、各取組に関する既存資料や写真、パンフレット、新聞記事等活動内容を補足する資料を添付いただけます。なお、添付資料については、枚数制限等ございませんが、ページ数の多い資料を添付する場合は、該当ページのみを抜粋する等、審査の円滑化のため、できるだけ枚数を絞っていただきますようお願いいたします。

(記載例)

令和8年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール推薦調書

【推薦事例（GAP 部門 個別経営の部 生産）】

推薦事例団体名及び代表者名	(株)〇〇農園 代表取締役 〇〇 〇〇
応募タイトル	GAP の取組を通じた生産工程の改善及び地域での普及活動
推薦調書作成者氏名及び連絡先	〇〇 〇〇(作成者氏名) 〇〇(作成者所属) 電話： メール：

推薦理由	<p>(株)〇〇農園では、〇〇年からGAPに取り組みはじめ、〇〇年にレタスが認証されて以降、継続して認証を受けながら生産工程管理の実践を行っており、GAP を通じた持続可能な農業の推進に向け取組を続けている。</p> <p>農業者の自主的で継続可能な体制づくりにより GAP の拡大を図っている(株)〇〇農園の取組は、農業経営の改善と持続可能施設の確保に関する優良事例に値するものとして、未来につながる持続可能な農業推進コンクールの GAP 部門、個人経営の部に推薦する。</p>
------	--

【各部に共通する審査項目】

審査項目	取組の特徴等
生産工程管理の改善に向けた継続的な取組	取組の各種記録・管理情報を一元的に管理できるよう〇〇〇〇のシステムを導入し、作業記録の統一化や効率化、記録漏れの防止等を行っており、作業者によって作業内容や作業場所等の記録内容にバラつきが出ないように工夫している。
生産効率性の向上に向けた取組とその効果	記録システムの導入により、作業者が自ら記録できる仕組みを構築している。特に業務の作業工程については、これまで〇〇〇〇という課題があったが、導入することで、作業者の作業内容に対する理解促進にもつながり、作業の明確化・効率化に貢献している。
経営の改善に向けた取組とその効果	作業の効率化により生産工程が可視化され、作業レベルに応じた給与見直しや人事評価への活用など、労働条件の改善にもつながっている。 また、地元企業との連携による販路拡大も進んでおり、今後は販路拡大に加え、輸出や加工も視野に入れ、他品目への GAP 展開についても、既存の経営体制を基に対処可能な体制が整っている。
地域の内外への波及に向けた取組	地域での GAP 普及に向けて、GAP 認証取得を希望する生産者への助言指導を行うなど、GAP の普及推進に取り組んでいる。